

公立中高一貫校 合格力講座

2019年度 合格へのこの一問!

執筆・早稲田進学会(大島茂) イラスト・青山ゆういち

鹿児島、山口、高知、佐賀県の現在の産業の特徴を見てみよう。

挑戦!

山口県立下関中等教育学校・山口県立高森みどり中学校 2018年度 記述式 の課題1から抜粋(一部改変)

はるかさんの学校の6年生は、「明治150年」をテーマとして調べたことを、学習発表会で発表します。はるかは、幕末をテーマとした観光プロジェクトである「平成の薩長土肥連谷」の新聞記事を思い出しました。そこで、はるかさんたちのグループは、薩摩藩(鹿児島県)、長州藩(山口県)、土佐藩(高知県)、肥前藩(佐賀県)の現在について発表することにしました。次の文章は、発表のための話し合いの一部です。あとの【問題1】～【問題5】に答えましょう。

【話し合いの一部】

はるか: 4つの県のうち、山口県以外の県に行ったことがある人はいるかな。

なつき: 佐賀県に、行ったことがあるわ。平野が広がっていて、田んぼがたくさんあったわ。佐賀県で開発された「さがびより」というお米を食べたら、とてもおいしかったわよ。

あきお: ぼくは、高知県に行って、かつおを食べたことがあるよ。高知県は、かつおの一本釣りがさかんだとお店の人が言っていたよ。

なつき: 高知県は、自然に恵まれ、森林の面積の割合が日本一だと本に書いてあったわ。山口県や鹿児島県も森林の面積の割合は、県全体の面積の半分を超えているんだって。

はるか: わたしは、鹿児島県の親せきの家に行ったときに、さつまいもを使った郷土料理を食べたよ。豚肉の料理も食べたけど、鹿児島県は、豚の飼育頭数が日本一だとウェブページに書いてあったよ。

なつき: それぞれにみりょくがあるね。みんなでさらにくわしく調べてみよう。

【問題1】 図1を見て、佐賀県と、県境を接している県のうち、陸続きで接している県の名前を2つ書きましょう。

【問題2】 a 部について、はるかは、調べたことをまと



資料問題編⑩ 「明治150年」薩長土肥の現在は

めた【メモ】を見ながら、学級担任の山田先生にたずねました。あとの問い①、②に答えましょう。

【はるかさんと山田先生の会話】

はるか: 「さがびより」をふくめ、日本ではこれまで多くの品種が開発されてきたのですね。

山田先生: 日本で最も多く栽培されている「コシヒカリ」も長年の研究の結果、生まれた品種です。「コシヒカリ」は、味が非常によい点が評価され、全国で栽培されるようになりました。

はるか: 【メモ】にあるように、「さがびより」は(ア)米をめざして開発されたことが分かりました。このように、味のよい品種だけでなく、自然条件に合う品種も開発されています。

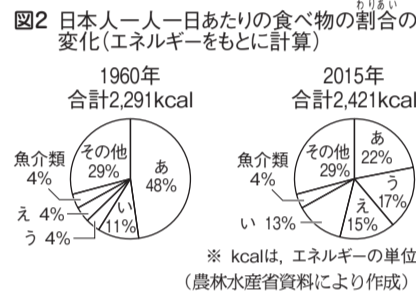
山田先生: そのとおりです。日本人の食生活も、変化してきましたからね。

【メモ】

- ・「さがびより」の特ちょうは、「つやがよい」「甘み、かおりがよい」など。
- ・1998年から11年かけて開発。
- ・夏場の高温など近年の気候変動にも対応できる米をめざした。

①【はるかさんと山田先生の会話】の(ア)に当てはまる言葉を【メモ】から14文字でぬき出しましょう。

②【はるかさんと山田先生の会話】の\_\_\_\_\_部について、日本人の食生活の変化が分かる図2のうち、あ～えには「油・バター等」、「肉類、たまご等」、「米」、「小麦」がそれぞれ入ります。「米」はあ～えのどれに当たりますか。記号で答えましょう。



【問題3】 b 部について、図3から読み取ることのできる内容として正しいものを次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

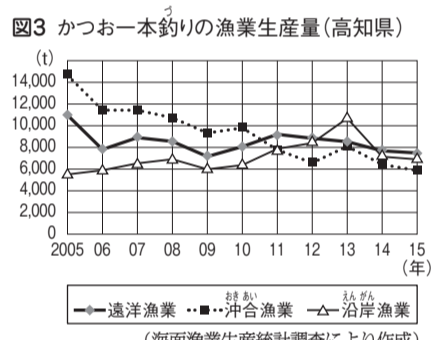
ア 遠洋漁業の漁業生産量は、2011年と2015年を比べると、約2000t増えた。

イ 沖合漁業の漁業生産量は、2005年には、沿岸漁業の漁業生産量の2倍以上であったが、2011年には同程度になった。

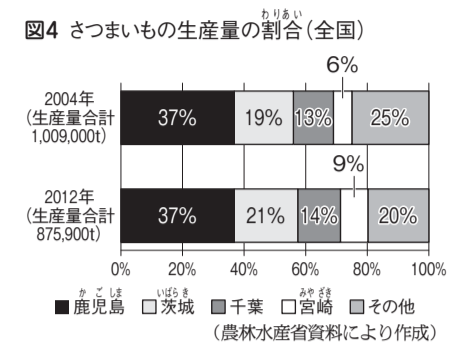
ウ 沖合漁業の漁業生産量は減り続け、2005年から2015年までの10年間で約3分の1になった。

エ 2005年以降、沿岸漁業の漁業生産量は増え続け、2015年には、遠洋漁業や沖合漁業の漁業生産量よりも多くなった。

【問題4】 c 部について、図4から鹿児島県では、さつまいもの2012年の生産量は、2004年の生産量と比べてどうなると読み取ることが出来ますか。解答用紙の( )に(増えた・減った・変わらず



ない)から1つ選んで書きましょう。また、そう読み取った理由を、「割合」と「生産量」という言葉を使って書きましょう。



【問題5】 はるかさんたちは、【話し合いの一部】をもとに4つの県について調べ、結果を表1にまとめました。表1のア～エには、それぞれ県名が入ります。ア～エのうち山口県に当たるものを選び、記号で答えましょう。

表1 4つの県の比較

県名	ア	イ	ウ	エ
県の面積(km <sup>2</sup> ) (2012年)	9,044	7,105	6,114	2,439
森林の面積の割合(%) (2012年)	64	84	72	46
飼育されている豚の頭数(頭) (2012年)	1,360,000	29,100	22,800	89,900

まず解いてみよう!

解説・解答を見ないで、まず自分で分析してみよう!

解説

【問題1】 「明治150年」をテーマにした問題に対応するために、幕末に活躍した薩長土肥の4つの藩の位置を押さえておきましょう。

【問題2】 ①【メモ】に「～をめざした。」とありますのですぐ分かりますね。②日本人は主食は米であったが、時代の変化と共に麺類やパンなどの小麦を使ったものや、肉類、油類など食生活の洋風化が進んでいます。

【問題3】 ア この2つの年を比べると右下がりとなっていますね。ウ 約14,000tから6,000tへの減少ですので、約2分の1に近いですね。エ 沿岸漁業は2013年からは減少し、2015年には遠洋漁業よりも生産量が少ないですね。

【問題4】 帯グラフで、2つの年度のある項目(ここでは県の)の割合が同じであっても、その各年度の合計量が異なるとその項目の具体的な数量は異なってきます。

【問題5】 森林面積の割合が、日本一ではないが、県全体の面積の半分を超えており、しかも、豚の頭数では日本一ではないものという会話の内容からすると自ずから決まりますね。

解答例

【問題1】 福岡県、長崎県

【問題2】 ①近年の気候変動にも対応できる ②あ

【問題3】 イ

【問題4】 (鹿児島県の生産量は)減った(と読み取ることが出来る。)(理由) さつまいもの生産量の割合は、鹿児島県は2つの年度ともに37%であるが、生産量の全国の合計が2012年は2004年に比べ減少しているから。

【問題5】 ウ